

【講師紹介】 田中 五郎 (たなか いつろう) 先生

1963年神奈川県生まれ。1988年東京歯科大学卒業、加藤歯科医院勤務。横浜市立市民病院口腔外科河内四郎先生のもとで研修。1992年田中歯科医院院長。全国訪問歯科研究会(加藤塾)所属。主な著書に、『総義歯難症例への対応その理論と実際』『総義歯という山の登り方』『食べられる口づくり口腔ケア&義歯』(編著)他、歯科専門誌に多数掲載

【講演内容】近年では、患者さんの高齢化と比例して、総義歯使用歴は長くなってきています。そのため、下顎だけでなく、上顎も顎堤吸収の度合いが激しい患者さんが多くみられるようになっていきました。そのような症例では、歯槽頂を基準とした総義歯製作法では対応できなくなってきました。そこで、どんな骨吸収のレベルでも対応できる、特別な器具を使うことなく、口腔内の解剖学的メルクマールを基準として総義歯を製作できる方法を紹介します。